



## 2023年 火災・救急・救助の概要（速報値）

2023年（1～12月）火災・救急・救助の件数等の速報値を取りまとめましたので、公表します。

### 1. 火災による死者は過去10年間で最多

火災による死者数は、過去10年間で最多の4人で、その内3人は住宅火災による死者となっています。

住宅用火災警報器は、住宅への設置義務化から10年を経過しており、老朽化した住宅用火災警報器の交換など、適切な維持管理を行うことが重要で、点検・交換などの維持管理の重要性について引き続き普及啓発活動を行うとともに、防災製品及び住宅用消火器等による総合的な住宅防火対策を推進していきます。

また、3月から5月までの間において、たき火（ごみ焼きなど）や火入れ（枯草焼き）を主原因とする火災が13件発生しています。

例年、空気が乾燥する春において、林野火災及びその他火災が多発しており、行為者の想定を超える延焼が相次ぎ、総じて、屋外で火気を取扱う際の消火準備に対する認識や延焼を危惧する意識の低さが火災発生に至ったものと捉えています。

### 2. 救急件数は過去最多

救急出動件数は、1,642件（対前年比115件増）、搬送人員は1,555人（対前年比130人増）といずれも過去最多となっています。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、人の流れの変化や、発熱、呼吸苦症状といった新型コロナウイルス感染症疑いの搬送が著しく増加したことが要因と推測します。

### 3. 救助件数は例年並み

救助出動件数については、21件と対前年比で2件増加していますが、過去10年間の推移で見るとほぼ例年並みの件数となっています。